

第7回宇宙産業部会 議事要旨

1. 日時：平成26年3月14日（金） 13：00－14：55

2. 場所：内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

松本部会長、中須賀部会長代理、池上委員、下村委員、白地委員、西村委員、仁藤委員、目崎委員、山川委員

(2) 事務局

西本宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、頓宮宇宙戦略室参事官、前原宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 我が国宇宙機器産業の競争力強化について

事務局から資料1に基づいて議論の論点について説明を行った後、下村委員から意見提出を行うとともに、宇宙航空研究開発機構からヒアリングを行った。これらを踏まえて、委員から、以下のような意見があった。

○宇宙インフラの整備、我が国宇宙産業の国際競争力強化に向け、これまでの様々な知見を継承して取りまとめていくため、専門家も交えたワーキンググループのような体制で検討していくことが必要ではないか。

○日本の高い技術力の実証だけでなく、そういった技術を海外に展開していく必要があり、このためには産学官の協力が重要。

○諸外国と同様に、我が国宇宙産業のベースを官需が支えていくことは重要ではあるが、企業側も自ら民需・外需を開拓する努力が必要。

(2) 宇宙利用産業のビジネス環境整備について

(3) 準天頂衛星の利用活性化について

(4) 新しい宇宙利用のあり方について

議題(2)について宇宙システム開発利用推進機構(JSS)から、議題(3)について神武慶應義塾大学大学院准教授から、議題(4)について宇宙航空研究開発機構(JAXA)からヒアリングを行った。これらを踏まえて、委員から、以下のような意見があった。

○宇宙利用のニーズ把握は欧米でも難しい問題。焦点を絞ってニーズを開拓し、成功事例を作っていくのが重要ではないか。

○データポリシーなど、市場開拓にどのようなハードルがあるのか整理等し、競合相手を見ながらマーケティングを強化することが必要。

○大学等が培ってきた人材育成の成果や人的ネットワークを活かすことも、我が国の産業振興のうえでは有効。

以上